

子育て期女性の就労と body mass index

永谷 照男 (Teruo NAGAYA)
名古屋市立大学
大学院医学研究科 公衆衛生学

第72回日本公衆衛生学会 (2013.10.24, 津)

1

目的

全体目的は、子育て期女性の就労が生活習慣や健康(指標)に与える影響を評価する。今回は、横断資料から就労とbody mass index (BMI) や肥満との関連性を示す。

対象者

面接で同意を得た健診受診女性5547名から学生や退職者を除き、50歳未満、妊娠なし、今回の調査項目に欠損なし、をすべて充たす5128名。平均年齢(sd)=37.8(6.0)歳

2

BMI 健診成績の身長と体重から算出
mean(sd)=20.7(2.9), range=13.8-41.7 kg/m²

交絡因子 下記5項目

1. 年齢
2. 治療中疾病: なし/あり, n=3896/1232
3. 喫煙: 非/既/現, n=4015/623/490
4. 飲酒: 週アルコール量 0/≤25/>25 g/w, n=2545/1210/137
5. 運動: 週運動時間 0/≤100/>100 min/w, n=3295/1040/793

3

A: 就労形態と就労時間(分布と平均)

就労	n	平均年齢(sd)
無職	865	39.5(4.6)
非正規	1603	38.9(6.1)
正規	2660	36.7(6.0)

週就労時間, h/w					
	<40	<45	<50	50≤	平均(sd)
無職	1019	421	95	68	30.7(12.4)
非正規	453	1163	489	555	43.3(7.8)

4

B: 就労形態とBMI/obesity

就労	BMI, kg/m ² lsmean(se)	odds ratio(95%CI) for obesity
無職	20.8(0.12)	1.00(reference)
非正規	20.9(0.09)	1.00(0.76, 1.33)
正規	20.9(0.08)	1.15(0.88, 1.50)
trend p	0.221	0.207

adjusted for age, present disease, drinking, smoking and exercise. 以下同

obesity: BMI≥90%tile (24.4 kg/m²), 以下同

5

C: 就労時間とBMI/obesity

無職+非正規, n=865+1603

就労時間 h/w	BMI, kg/m ² lsmean(se)	odds ratio(95%CI) for obesity
無職	20.9(0.14)	1.00(reference)
<40	20.9(0.13)	0.87(0.64, 1.02)
<45	21.1(0.16)	1.18(0.80, 1.73)
<50	21.2(0.31)	1.28(0.63, 2.39)
50≤	21.0(0.36)	0.98(0.39, 2.12)
trend p	0.420	0.501

6

D: 就労時間とBMI/obesity

無職+正規, n=865+2660

就労時間 h/w	BMI, kg/m ² lsmean(se)	odds ratio(95%CI) for obesity
無職	20.7(0.13)	1.00(reference)
<40	20.8(0.16)	1.08(0.73, 1.59)
<45	20.8(0.12)	1.16(0.86, 1.57)
<50	21.0(0.15)	1.27(0.87, 1.83)
50≤	21.1(0.14)	1.33(0.93, 1.91)
trend p	0.022	0.081

7

まとめ

1. 就労時間は非正規<正規。
2. 無職、非正規、正規の3群間では、平均BMIや肥満者割合に有意差はなかった。
3. 正規では就労時間が長いほど平均BMIが高く、肥満者割合も大きい傾向があった。非正規ではこの関連は不明確であった。

今後、対象者を追跡し、家庭要因(配偶者・子の有無など)を加え、子育て期女性の就労が生活習慣や健康に与える中期的影響を検討する。

8

この研究は

文科省・科学研究費と

三菱財団、日本健康増進財団、ヘルス・サイエンス・センター、愛知健康増進財団の助成金を用い、

国際セントラルクリニック(名古屋市中村区、事務長:近藤康明、理事長:内藤靖夫)の多くの受診者と職員の協力で実施している。

研究経過は下記HPに順次開示している。

<http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/kouei.dir/moku%20sinkou.html>

9